

## 21世紀の仕事をめざして —自分らしい働き方と生き方を—

# 「国際ボランティア実務士」

Certified International Volunteer Management Specialist

応用社会学科では2004年度より「国際ボランティア実務士」資格認定課程を開設しています  
応用社会学科以外の学生も履修できます

いま、世界では国家や企業のみでは解決できない、さまざまな問題群が生起しています。紛争解決、戦争や災害からの復興支援、環境問題、子ども・女性・マイノリティや海外からの移住者・労働者などの人権保障や社会的向上…。こうした問題を市民自身の力により、民衆の利益につながる形で解決するための力として、国際NPO、NGOによるボランティア活動が大きな注目を集めています。

しかし、どんなに情熱にあふれていても、自分の価値観と思い込みだけで現場に乗り込んでいくなら、それは現場の本当のニーズに答えられないばかりか、かえって現地社会を破壊したり、混乱させることにつながりかねません。問題の原因・背景、現地社会の状況や民意を正確につかみ、本当に必要とされる支援を行っていく力が、ボランティア活動には不可欠です。とくに国際社会で働く場合は、異なる文化や政治経済状況を理解する意思と実力は欠かせません。

本課程では、多様な領域にわたる必修・選択科目と現場実習を通じて、現場での行動力と十分な問題分析力を兼ね備え、国内外で活躍できる「国際ボランティア実務士」の育成をはかります。

### 活躍が期待される職場

- 地方自治体の地域関連、地域活性化・地域振興等の部門・公務員
- 学校、地域福祉関係、地域オーガナイザー
- 国内・国際NGO/NPOでのコーディネーター、事務関係
- 一般企業の渉外・地域との連携
- 第3セクター、協同組合
- 旅行代理業、マスコミ

### 来年度の「国際ボランティア実務士」養成課程履修を希望する学生へ

この課程は2年次から履修です。しかし1年生の時に「国際ボランティア実務士」課程の必修科目である「英語L/SⅠ,Ⅱ」及び「情報処理実習Ⅰ」の履修をしておくとの後の履修予定が立てやすいので、この資格に興味のある学生は必ず履修しておいてください。養成課程履修申し込みは1年次の終り（来年1月のコース説明会時）に配布します。その時点でこの資格についてぜひ考えておいてください。

## 履修上の注意および条件

1. 国際ボランティア実務士の資格は以下の課程必修科目（第1, 2類）16単位、及び選択必修科目（第3, 4, 5類）14単位以上、計30単位以上を取得することで申請資格を得、その後授与される。申請時に上記30単位及び学科の必修単位を取得し、卒業必要単位（130単位）も修得している、または修得が予定されている場合、資格申請をおこなうことができる。
  - a. 第1類、第2類の必修科目計16単位。
  - b. 第2類のうち社会活動実習Aは、第1類～第3類の必修・選択必修科目の修得が全て終わった学生が履修すること。
  - c. 第3類は合計8単位以上を履修すること。
  - d. 第4類、第5類の中から6単位以上を履修すること。第5類の第2外国語を履修する場合は必ず、同一言語のIとIIを履修すること。開講されておればIIIの履修も可能。
  - e. 社会活動原論I・II、情報処理実習I、社会活動実習Aは、応用社会学科以外の学生の場合、本課程登録者のみが履修可能。
2. 本課程の履修者は上記科目の他に、次の科目の中からできるだけ多くの科目を履修することが望ましい。

人権問題概論I・II、現代経済論I・II、現代社会思想I・II、環境問題論I・II、生涯スポーツ論、社会調査法I・II、地域社会学I・II、家族社会学I・II、法社会学I・II、宗教社会学I・II、比較社会学I・II、政治社会学I・II、産業社会学I・II、スポーツ社会学、文化人類学I・II、消費社会論I・II、マスメディア論I・II、比較文化論I・II、科学技術論、政治学概論I・II、経済原論I・II、地理学要論I・II、地誌学、憲法I・II、労働法、社会政策I・II
3. 応用社会学科の学生で本課程の履修を希望する場合は1年次末に、応用社会学科研究事務室に届け出ること。応用社会学科以外の学生で本課程の履修を希望するものは、1年次末に選考面接を行い、その結果課程履修を許可され、応用社会学科研究事務室に届け出た後「指」指定科目の履修登録ができる。
4. 本資格の申請は申請費用7000円を添え、応用社会学科事務室に10月末までに届け出ること。申請手続きは応用社会学科事務室を通して学長が行う。卒業時に資格「認定証」を学生は応用社会学科事務室で受け取ること。

従来より資格が取得しやすくなりました。

## 国際ボランティア実務士課程履修規程

21世紀は市民社会を迎えNPO・NGOの設立数が激増し、NGO・NPO、市民団体等への期待が高まっている。この社会的期待に応えるため、国内外のNPO・NGOで活躍する人材が大きく求められるようになってきている。そこで、応用社会学科では全国大学実務教育協会が認定する「国際ボランティア実務士」資格取得課程を置く。国際ボランティアに関する基礎知識・専門知識、及び現場での実務実習を通して、ボランティア団体、NGO・NPOに関わる実務一般についての遂行能力を高めるとともに、応用社会学科における幅広い国際関係科目等を履修することにより、国際（および国内）ボランティアとしてNGO・NPO等諸団体で活躍しうる専門家を養成することを目的とする。

標準履修課程表（\*は教養教育科目。他は応用社会学科開設科目）

分野	科目名	単位	必修・選択	1年次	2年次	3年次
第1類 国際ボランティア基礎科目 (6単位)	社会活動原論II	2	必修		○	
	国際援助技術論（応社特講A）	2	必修	○	○	
	情報処理実習I	2	必修	○		
第2類 国際ボランティアの 知識と実践科目 (10単位)	英語L/S I *	2	必修	○		
	英語L/S II *	2	必修	○		
	TOEICセミナー *	2	必修		○	
	社会活動実習 A	4	必修			○
第3類 国際援助科目 (8単位以上)	社会活動原論I	2	選択必修		○	
	平和学I	2	選択必修		○	
	平和学II	2	選択必修		○	
	国際社会論I	2	選択必修		○	
	国際社会論II	2	選択必修		○	
第4類 国際関係論系科目 (第4類および第5類の 中から6単位以上)	国際関係論 I	2	選択		○	
	国際関係論 II	2	選択		○	
	民族問題論 I	2	選択		○	
	民族問題論 II	2	選択		○	
	南北問題論 I	2	選択		○	
	南北問題論 II	2	選択		○	
	東南アジア社会論 I	2	選択		○	
	東南アジア社会論 II	2	選択		○	
第5類 第2外国語	中国語I, II, III *	各2	選択		○	
	韓国（朝鮮）語I, II, III *	各2	選択		○	
	スワヒリ語I, II, III *	各2	選択		○	
	フィリピン語I, II, III *	各2	選択		○	
	ロシア語I, II, III *	各2	選択		○	
	ドイツ語I, II, III *	各2	選択		○	
	フランス語I, II, III *	各2	選択		○	
	スペイン語I, II, III *	各2	選択		○	

# 実習授業紹介（2006年度）

## 「情報化時代のボランティア活動のために ーデータ解析法・データの2次分析ー」

情報処理実習Ⅰ 担当教員：野村 明宏

ボランティア活動には、ホットな情熱とクールな知性の両方が求められているといえるでしょう。とりわけ国際的なボランティア活動には、現場の錯綜した状況やニーズを的確に精査検討するための冷静な知性は不可欠です。より効果的なボランティア実務を遂行するためには、客観的なデータに基づく社会問題の発見やその解決策を探るための情報の分析や処理能力は重要なスキルなのです。

情報処理実習Ⅰでは、以上の問題意識に基づき、実際にパソコン上でソフトウェア（Ms-Word、Excel等）を用い、データ記述（平均、分散等の計算、度数分布表の作成）やグラフ作成、変数間の関連の分析（相関、回帰分析等）を実践的に学習していきます。またパソコンを用いたプレゼン技術の向上をはかるため、ホームページ作成などをトレーニングし、現代の情報化社会において要請されているリテラシー（読み書き能力）の習得を目指します。

## 「フィリピン・ドゥゲマ市における市場調査と ボランティア実習、その準備・報告」

社会活動実習A（海外ボランティア実習）  
担当教員：ムアング ゴードン・安部 竜一郎

本授業の目標は、海外における短期間の社会調査を準備・計画・実施・記録・報告するスキルを習得することである。事前学習において、フィリピンの歴史と文化について一般的な知識を学ぶ。またフィリピン各都市の市場についても実習内容についても予備学習する。英語とピリピノ語、セブアノ語の基本会話を、実際のインタビューとプレゼンテーションを想定して行なう。デジタルカメラ、ICレコーダ、ビデオカメラによる調査記録の方法も身につけておく。実習は、フィリピン共和国東ネグロス州の州都ドゥマゲティ市に滞在し、コンパクトな市街地の調査、公設市場周辺の調査を行う。

ボランティア活動としては市場への出荷前日の果実、野菜の摘み取り作業などを予定している。活動過程を克明に記録し、それを元に報告DVDを作成し、発表会を開催する。

◇お問い合わせは下記研究事務室まで◇

四国学院大学 社会学部 応用社会学科

〒765-8505 香川県善通寺市文京町3-2-1

TEL 0877-62-2111 ext.382

FAX 0877-62-3934

<http://www.sg-u.ac.jp/g-index.htm>

2006年度版 2006年3月20日 初版発行